

今は夏休み特別貸出期間!

ひとり5冊まで 9月2日(金)まで借りられます。

夏休みの開館日

7/21(木)・22(金)・25(月)・26(火)

27(水)・28(木)・29(金)

9:30~13:00 *時間は変更の可能性もあります

図書表記のオススペー

図書館では、図書委員のオススメ本を展示しています。 本を読むのが苦手な人でも読みやすい本を紹介しています。

『ディズニー ありがとうの神様が教えてくれたこと』 鎌田 洋

ディズニーランドでおこったステキなお話がたくさん書かれています。このシリーズは他にも3冊あり、読むとディズニーランドに 行きたくなります!

『エラゴン』

クリストファー・パオリーニ 普通の少年がある日、森でドラゴンの卵を拾ってきたことから人生が 大きく変わっていく物語です。

『娘が学校に行きません』

4コマ漫画で読みやす

い本です。共感する部分も

あり、娘とお母さんと周り の人たちが一歩ずつがん

ばっていく所が良かった

野原広子

『**怪盗探偵 山猫**』 神永 学

鮮やかな犯行のあとには、 必ず闇の悪事が暴かれる! 平成のねずみ小僧か、はたま た単なる盗人か!?



です。

『きみの友だち』重松 清

さまざまな主人公たちの物語で、「友だち」とは何なのかということを考えさせられます。 心に残る本なのでぜひ読んでほしいです。



<u>(,)</u>

『日本のみなさんにお伝えしたい48のWhy』 厚切りジェイソン

著者の厚切りジェイソンはアメリカ出身のIT企業 役員かつ、お笑い芸人です。外国人ならではの目線で 日本人のいろんな悩みを解決してくれています。

『心を整える』長谷部 誠

サッカー日本代表の長谷部選手の習慣にしていることが書かれています!



『ズートピア』

スーザン・フランシス

ウサギの新米警官ジュディが、 キツネのペてん師ニックと共に連 続行方不明事件を捜査することに なり…。

話題のディズニー映画の原作本!

『東京バンドワゴン』小路 幸也

下町にある古本屋「東京バンドワゴン」を営む堀田家が、さまざまなトラブルを解決し、さらに人の輪を広げていく人情物語になっています。

2013年にドラマ化もされており、シリーズも何冊もあります。

本を読むのが 苦手な人にもオススメ

手軽に読める本

『歩くはやさで』 文:松本巌 絵:堺直子 (小さい書房)



いつも手放せないスマートフォン。雑踏の中を歩いているのに、会って話しているのに、こんなキレイな空なのに、うつむきながら、今ここじゃない何処かとつながっている。 ムダはイヤ。ラクして楽しいがいい。

でもそれは何かを得たようで、奪われているのかもしれない…。 何が大切なのかを考えさせてくれる絵本です。

『世界でいちばん貧しい大統領からきみへ』 著: ホセ・ムヒカ 編: くさば よしみ 絵: 田口 実千代



「世界でいちばん貧しい大統領」として給料のほとんどを寄付して質素な生活を していると話題になった、元ウルグアイ大統領ホセ・ムヒカさんからのメッセージ です。これまでのスピーチや取材で語ったことや、大統領の任期を終えた直後にお こなったインタビューをもとにまとめています。



新レく入った本

他にもたくさんの本が 新しく入っています!

『ズートピア』

スーザン・フランシス (偕成社)

『九十九さん家のあやかし事情 1~5』

椎名 蓮月 (KADOKAWA)

『世界からボクが消えたなら キャベツの物語』

涌井 学 (小学館)

『火の粉』

雫井 脩介 幻冬舎

『チョコレート・コンフュージョン』

星奏 なつめ (KADOKAWA)

『思い出のとき修理します 4』

谷瑞恵(集英社)

『つくもがみ、遊ぼうよ』

畠中 恵 (KADOKAWA)

『幽遊菓庵~春寿堂の怪奇帳 1~5』

真鍋 卓 (KADOKAWA)

『探偵の鑑定 1~2』

松岡 圭祐 (講談社)

『クリーピー』

前川 裕 (光文社)

『結局、「すぐやる人」がすべてを手に入れる』

藤由 達蔵 (青春出版社)

『スポーツ感動物語 アスリートの原点 1~6』

(学研プラス)

『嫌われる勇気』

岸見 一郎 (ダイヤモンド社)

『語彙力を鍛える』

石黒 圭 (光文社)

『ダウン・ザ・ライン 錦織 圭』

錦織 圭 (朝日新聞出版)

『夜を乗り越える』

又吉 直樹 (小学館)

『TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編』

ETS(国際ビジネスコミュニケーション協会)

『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』

荒木 香織 (講談社)

『はたらく細胞 1~3』 *マンガなので貸出不可

清水 茜 (講談社)

『コウノドリ 13・14』*マンガなので貸出不可

鈴ノ木 ユウ (講談社)